

日刊 發行部編輯人 川崎文台 本社下向橋地（電話六三〇番）



定 額 一 部 金 貳 錢 一 月 刊 五 錢 三 月 刊 一 圓 一 年 刊 十 圓 郵 費 在 內 凡 購 報 者 請 向 本 社 或 各 支 部 函 購 可 也 本 社 設 於 下 向 橋 地 電 話 六 三 〇 番

刊夕日三月五

翌年三月十日支那外交總長は國會の決議より日本公使に對し二十一ヶ條全部の無効を聲明す。是れに對し日本政府は絶對に反對し支那政府に回答を發すると同時に駐日各國公使に對し「山東省を還付し且つ滿蒙に於ける借款利益を新銀行團に讓與せるを以て二十一ヶ條の性質は已に變化しあるのみならず各國の支那に於ける利益を妨害する所なきを以て支那が故

支那に於ける不平等條約廢止運動の概要

陸軍歩兵大尉 萩原英

(十) 意に有効の條約を破棄せんとせるも日本は絶對に承認し難し」と聲明該問題は其儘今日に及んで居ります。華盛頓會議を通觀するに支那は各種の條約廢棄を要求して居るが實際上得たる所は山東問題の解決及外國郵便局撤廢であつて其他の事項に對しては或は後日更に會議を開く事とし或は全然受理して居ないのである。然れども之れは支那人より見たる觀察にして日本帝國

の立場より觀察せば海軍制限と云ひ、極東問題と云ひ何れも日本の東亞に於ける優越權を制したる會議に外ならぬ事は明白である昨年日本の出兵に對し南方派や某國は是れ日本の擴張政策なりと批難したのである。然るに其の後渡日する南方派の有力者は皆口を揃へて滿蒙に於ける日本の特殊利益を認める旨を日本の朝野に向つて明言して居る而して又張大元帥の根據地たる東三省は日下支那の何れの地方よりも排日運動が旺である。滿蒙に於ける日鮮人を壓迫驅逐する政策は實に露骨遂烈である。

平町紺屋町(縣社通り)
 着ナフートル
 着尺モスリン
 模様 銘仙
 小町 龜田屋
 電五七

美味 評判
 平町半食堂
 オの部話電四六〇番

帝キネマキノ
 有聲座
 次週公開
 百萬兩秘聞 第三篇
 神州天馬俠 第一篇
 麒麟兒篇、白及紅葉篇

四日より巨篇公開
 マキノ御室作
 杉狂児、小宮一晃、津村博
 瀧澤憲、淡明子助演
 探偵 光線捕男 七卷
 帝キネ特作品
 松本田三郎千草香子主演
 研屋辰次 前後十五卷上映

御進物には
 ヤマフルの商品券が一番
 醬油味噌
 たひら正宗
 鯉節 食料品
 鹽屋
 金山崎合名會社
 福島縣平町
 電話(營業部)一〇番
 (醸造工場)二七番

春! 櫻!
 花が咲いた!! 花に酒!!
 松ヶ岡の料理 氣持ちの善い食堂
 カフエー 松ヶ岡
 二階座敷から二目に公園の花見が出来ます
 薄皮饅頭 別製最中
 徒弟募集 十三四歳位ノモノ三人 希望者御來談ア乞フ
 電話三五六番呼

原齒科醫院
 平町土橋通り電話三二番
 新築移轉
 耳鼻咽喉科専門
 場所 (舊診療所裏通り)
 合津醫院
 平町仲田町(電話五五九)

合着もの
 種々取揃へました
 大勉強いたします
 小供洋服は壹圓五十錢より
 其他特別格安もの多數是非
 御出下さい
 十字服屋洋店
 平停車場前通り

診療開始
 外科専門
 花柳病専門
 木村外科醫院
 入院自炊の便あり
 平町五丁目橋際

龍虎相搏 短期超特別大興行
 春名大會
 現出りの三再書名れらへ迎に望熱のニアフ的狂熱
 ハロルドロイド映畫
 ◆パテー社名畫 原名「くよくすな」
 助演シヨビナナフルストン嬢
 巨人征服 全六卷
 監督池田富保 助監督清瀬英太郎
 撮撮松村清太郎 進行係西村治三郎
 河部五郎・大河内傳次郎熱演
 幕末 修羅王 全部上映
 捕物奇譚 浪人?直參?今宵も三つの魂は消えた。
 倒幕の犠牲は三つ増したわ、我等の満願
 は近づいて來るのだ。奮るな、寄れば村
 正の鵞が鳴るぞ、觸れば汝の魂は消れる
 ぞッ
 阪東妻三郎映畫
 時は奮修隨華の美なりし文化の時代が生
 る旗本代表的デカタンと神出鬼没の...
 蜘蛛 全十五卷
 五月三日より三日間限
 警報新聞 日活 平館 電四六六
 大福引 松竹

一萬圓内外の金持が一番多い

石城の有産階級

平稅務署の統計から見た

石城郡内において昨二年度中行はれた家督或は遺産相続中家督相続の課稅價格が五千圓以上に達し或は遺産相続の課稅價格が千圓以上に達したる即ち

件數	課稅價格單位千圓
五千圓以上	二二
一萬圓	六九
二萬圓	四九
三萬圓	六二
四萬圓	三〇
五萬圓	二八
七萬圓	四八
十萬圓	一六
二十萬圓	六八
四十萬圓	三一
五十萬圓	四一
一〇〇萬圓	四六

サツキ自慢

尤物を陳列

課稅價格は實に七百五十一萬圓の巨額に達してゐるが家督相続による納稅者百六十一人中最も多數を占めてゐるのは課稅價格一萬圓をこゆるもの六十九名を首位として三萬圓を越ゆるもの四十四名これに續ぎ課稅價格が四十萬圓五十萬圓といふ納稅者に至つては前者は勿來町大平陸四郎氏後者は内郷村馬目太吉氏

平町地方の阜月熱は逐年漸盛を極めて本年などの栽培情態は昨年と比較約倍數以上に達してゐるだらうといはれてゐる位だからいよいよサツキの節になれば各所に自慢の名花が陳列されて美觀を呈する事となるであらうが昨今は未だサツキの節にも早く殊にサツキ熱を壓倒せんばかりに最近著しく勢ひにて流行を見せ出て來た葵が咲き出して植物愛好家を喜ばせてゐる

歩増し廢止

入山採炭の對策

各一名に過ぎない因にその内容を記せば次ぎの如く同年度は土地賃賃價價調査のため滞してゐた前年分を決定したるもの少くないので稅額は前年と比較數倍の増加を示してゐる

三千の坑夫と百五十名の職員を有してゐる石城郡湯本町入山採炭會社では常磐第一の警城がすでに三月以來賃銀一割

値下げを行なつて

ある折柄既に無配當も四期間續いたので本年上半期は是非とも五分以上の配當をしたいと種々對策を考究した結果先づ勞働者の賃銀一ヶ月十三萬圓のうち約六千圓、坑木その他ロツプ等購入費四千圓の節約を行ふことになつた

此結果 賃銀値下げは行はぬけれ共所謂一定作

來る九日盛大な漁港竣工式を擧ぐる

江名濱漁業の發達

石城郡江名町における漁港修築工事竣工式は來る九日を期し極めて盛大に舉行される等て同町では漁業組合長中田政吉氏を會長とする協賛會を組織し

も十二馬力乃至十六馬力位のものを二十五隻前後を程度とした設計によつたのであるが昨今においては實に七十馬力内外の漁船三十四隻を有するに至つたもので近來における同地の漁業發達向上の過程を顧ると眞に文字通り

融世の觀がある、随つて現在荒天等の場合に於て避難船の混雜に至つては地元漁船のみならず既に舷々相摩する状態を呈し漁船を以て唯一の財産とする地元漁業家のため所謂自衛上眞にやむなき結果として往々他方面の船舶衝突

たら食へよい位の大きさに切ら馬鈴薯と人参は皮を剥き二分角位の大きさに切つて沸湯の中に入れて鹽茹としカレー粉(小匙山盛一杯)とメリケン粉(大匙一杯)を狐色に香ばしく煎り等にかけて少量の水でといて置く鍋に出汁(四合位)を入れその中に用意の豚肉、春雨、馬鈴薯、人参と青豆を入れ火にかけて沸立つて人參と青豆肉に火が通つたら醬油と鹽とで味をつけ用意のカレー粉をかき混ぜながらカレー粉に火が通つたら少々ごろごろとなつたら生薑の搾り汁少量を加へて火より下し碗に注ぎ入れる

關係から 港内六千坪の當初計畫を三千六百坪に縮小變更しその抱擁船舶

平町人事
△出生 大河原孝貞九氏三男博
△南町四八
△死亡 小川原カヤ(六四)



豚肉と春雨のカレー
調理 肉はススキ焼をするやうに切つて求め、更に一切を二切れ位に切る春雨(支那素麵)は井に入れて上から沸湯をかけ軟かになつ

業以上は對し支給してゐた歩増しを勞働者一人平均四十圓の稼ぎ賃銀を三十八圓程度に止め整理節約をなし大體來る六月下旬開く株主總會にたいして五分配當可能となつて來た

實際問題 當面は能ふ限り外來船に對する便宜の供與方に就いて人知れぬ苦衷を繰返してゐると語つてゐた

暴利商封じ

日用品相場公表

常磐各炭礦會社では從業員の生活安定を計るの一策として日用品の如きは可及的低廉に供給すべく各社糧食部に相當力を傾注し居るも往々勞働者の經濟觀念に無自覺なる隙に乘じ市井の商人等暴利を以て賣り付け一方各勞働者連も高價の商品を購入し平氣で居る如き状態にあるを遺憾となし今國湯本町入山炭礦會社吉田事務部長の發案に依り日用品其の他一般市價を常に從業員に周知せしむる機關を備へ暴利商人封じに備へ一般從業者の生活費の低廉を期する事となつた

入山炭礦が

日用品相場公表

常磐各炭礦會社では從業員の生活安定を計るの一策として日用品の如きは可及的低廉に供給すべく各社糧食部に相當力を傾注し居るも往々勞働者の經濟觀念に無自覺なる隙に乘じ市井の商人等暴利を以て賣り付け一方各勞働者連も高價の商品を購入し平氣で居る如き状態にあるを遺憾となし今國湯本町入山炭礦會社吉田事務部長の發案に依り日用品其の他一般市價を常に從業員に周知せしむる機關を備へ暴利商人封じに備へ一般從業者の生活費の低廉を期する事となつた

松葉に

割いたもの

どの二つがあります。松葉の方は變り骨として趣味の多いものです。疊んだ處は青竹の色その儘で如何にも夏の感じにピッタリと合ひます。柄は磨きの竹で根の邊りを巧に應用して美しい握りとしてあります。殊に柄は中間から折り疊みの

鯉漁の情報に

濱の人達勇立つ

近年稀れな豊漁と

見らるべき幾多の事例

石城郡下各濱では目前に迫る鯉漁出船準備に忙殺されてゐるが本年の鯉漁豫想に就き小名濱漁業組合長立花典七氏の談に依ると縣水産試験場

の事例があるとの事で各漁業家は非常な意氣込みで尙從來迄の漁場は南方は千葉北方は宮城縣等に限られて居たが、今年からは南伊豆七島から北は北海道クシロ方面迄出漁すべく準備中で殊に遠洋漁業に必須な冷凍餌其の他装置上大形漁船の必要が切實になり

磐城丸は 目下小名濱、江名、四倉、各濱の船長二十五名を載せ天測講習と鯉漁場偵察の爲め伊豆七島方面に出港中であるが其の情報に依ると本年は近年稀な豊漁と見らるべき幾多

一方船員 的天測其の他専門的知識涵養の必要

傘日繪な雅風

流行は常に繰返されるものであります。昔の繪日傘は

紙張で ありました

が今年の流行日傘には紙は殆んどなく羽二重或は錦紗の二種に限られたやうで

ありまして。地色は夏の周圍にピッタリと合はまるやうにとキキクリム色に描き繪と刺繍とで花鳥模様を出したもので或は更紗風の羽二重など凝つたものが多く張り方も一重と

二重と があります

に金泥で花鳥を配したものが如何にもハイカラでありながら何處か高尚な味があるものです。骨は青竹の節をつけたものと一本骨

出来る

もので携帯の便は此の上もありません。値段は昨年比べて二割方安くならまして普通のものですと一圓八十錢から三四圓上ものになります。八九圓から十二三圓まであります